

つくす つくづく つくろう つけたし つける つごう つたない つつしむ つづる つとめて つとめる つながる つねに つぶさに つぶやく つまづく つまびらか つまらない つまり つめこむ つもり つゆ	跡を継ぐ ・接ぐ 骨を接ぐ ・尽くす 誠意を尽くす ・つくづく ・繕う ・付け足し ・付ける 気を付ける、身に付ける、 名付ける、結び付ける ・都合 ・つたない (×拙い) ・慎む 身を慎む、言葉を慎む ・謹む (深く敬意を表す) 謹んで聞く ・つづる (×綴る) ※ つづり方、つづり ・努めて ・努める 解決に努める ・勤める 会社に勤める ・務める 議長を務める ・つながる (×繋がる、繋がる) ・常に ※ 常々 ・つぶさに (×具に、備に) ・つぶやく (×呟く) ・つまづく (×躓く、つまづく) ・つまびらか ・つまらない、詰まらない ・つまり ・詰め込む ・つもり ・梅雨 毎日梅雨空が続く ・露	草原の露、露にぬれる、夜露 ・つゆ そんなこととはつゆ知らず ・つらい (×辛い) ・釣り合う ・連れる ※ 連れ、連れ出す
		て であう てあたりしだい てあて てい ていさい ていじ ていちょう ていねい ていほん ておくれ てがかり でかける てがたい てきかく てきぎ でき

・出会う 人と出会う ・出合う 川と川が出合う ・手当たり次第 ・手当て 傷の手当て ・手当 期末手当 ・てい ほうほうのてい ・体裁 ・提示 (取り出して見せる) 資料を提示する ・呈示 (見せなければならぬものを見せる) 身分証明書を呈示する ・丁重 (×鄭重) 丁重なごあいさつ ・丁寧 ・定本 (標準となる本) ・底本 (土台とした本) ・手後れ、手遅れ ・手掛かり ・出掛ける ・手堅い ・的確 ・適宜 ・出来 出来事、上出来、出来高
--

ときどき とぎれる とく	・時 時のたつのも忘れ～ ・時々、ときどき ・途切れる ・解く 誤解を解く、緊張を解く 問題を解く ・溶く 絵の具を溶く、 地域に溶け込む ・とく 髪をとく（×梳く） ・説く 教えを説く	とどまる	・とどまる (×止まる、留まる) ※ とどめる
とくちよう	・怒鳴る ・飛び うわさが飛ぶ、空を飛ぶ ・跳ぶ 跳び箱、跳びはねる ・飛び交う ・途方に暮れる ※ 途方もない ・戸惑う ・留める 心に留める	とびかう とほうにくれる	・ども - 私ども、大人ども
とくに どこ ところ	・特徴 子どもの特徴 ・特長（優れた特徴） 品物の特長 ・特に ・どこ ・ところ ～したところ、～ ※ 「所」は、具体的に場所を表すときに用いる。	とまどう とめる	・友達 ・共々 ・伴う ・ともに ～するとともに、～ ・共に 保護者と共に行く
ところが ところで とじる とだえる とつじょ とつとつ とつぱん とつべん とても とどけ	・とつとつ（×訥々） ・凸版 ・とつ弁（×訥弁） ・とても ・届け、届 ～に届けを出す 欠席届、転出届	ともだち ともども ともなう ともに	・とらえる（×捉える） ～の要点をとらえる ・捕らえる ～の腕を捕らえる ・取り扱い ※ 取扱い ・取り掛かる ・取り組み、取組み、(取組) ・取り組む ・取り仕切る ・取り締まる ・取り繕う ・取り計らう ・取りも直さず ・取りやめ ・とりわけ、取り分け ・取る 連絡を取る、年を取る
ところ ととのえる	・とつとつ（×綴じる） ・途絶える ・突如 ・とつとつ（×訥々） ・凸版 ・とつ弁（×訥弁） ・とても ・届け、届 ～に届けを出す 欠席届、転出届 ・整える（整理） 体調を整える ・調える（調達、まとめ） 交渉を調える	とらえる	
ところが ところで とじる とだえる とつじょ とつとつ とつぱん とつべん とても とどけ	・とつとつ（×綴じる） ・途絶える ・突如 ・とつとつ（×訥々） ・凸版 ・とつ弁（×訥弁） ・とても ・届け、届 ～に届けを出す 欠席届、転出届 ・整える（整理） 体調を整える ・調える（調達、まとめ） 交渉を調える	とりあつかう とりかかる とりくみ とりくむ とりしきる とりしまる とりつくろう とりはからう とりもなおさず とりやめ とりわけ とる	

とんちやく どんよく	・採る 貝を採る、決を採る ・執る 筆を執る、事務を執る ・撮る 映画を撮る ・捕る 生け捕る ・とる 責任をとる、連絡をとる、 機嫌をとる、栄養をとる (獲る・穫る・摂る・盗るの意 味で表記するときは、仮名で 書く) ・とんちやく (×頓着) ・どん欲 (×貪欲)	なかでも なかななか なかば なかほど なかま なかみ なかんずく なぎさ なく なごやか なぎし なしとげる なじむ なぜ なついん なづける なっとく なでる など なにがし なにげない なにせ なにとぞ なにより なのる なまぬるい なまり なみたいいてい なみはずれる ならう	永い年月、永らえる ・なかでも ・なかななか ・半ば 半ばあきらめの気持ち ・中程 ・仲間 ・中身 ・なかんずく (×就中) ・なぎさ (×渚) ・泣く 赤ちゃんが泣く、泣き声 ・鳴く (×啼く) 鳥が鳴く、鳴き声 ・和やか ・名指し ・成し遂げる ・なじむ (×馴染む) ・なぜ (×何故) ・なつ印 (×捺印) ・名付ける ・納得 ・なでる (×撫でる) ・など (×等) ・なにがし (×某、何某) ・何気ない ・何せ、なにせ ・何とぞ、なにとぞ (×何卒) ・何より、なにより ・名のる (×名乗る、名告る) ・生ぬるい ・なまり (×訛り) ・並大抵 ・並外れる ・習う 漢字を習う ・倣う 前例に倣う ・並びに ・習わし、ならわし (×慣わし)
な			
ない ないがしろ ないし ないしょ なお なおさら なおす なか ながい	・無い 無い物ねだり ・ない 関心がない、行かない ・亡い 知人が亡くなる ・ないがしろ ・ないし (×乃至) ・ないしょ (×内緒) ・なお (×尚、猶) ・なおさら (×尚更) ・直す 機械を直す ・治す 病気を治す ・仲 ※ 仲良し、仲直り 仲たがひ ・長い 長生き、長持ちする ・永い	なごやか なぎし なしとげる なじむ なぜ なついん なづける なっとく なでる など なにがし なにげない なにせ なにとぞ なにより なのる なまぬるい なまり なみたいいてい なみはずれる ならう ならびに ならわし	永い年月、永らえる ・なかでも ・なかななか ・半ば 半ばあきらめの気持ち ・中程 ・仲間 ・中身 ・なかんずく (×就中) ・なぎさ (×渚) ・泣く 赤ちゃんが泣く、泣き声 ・鳴く (×啼く) 鳥が鳴く、鳴き声 ・和やか ・名指し ・成し遂げる ・なじむ (×馴染む) ・なぜ (×何故) ・なつ印 (×捺印) ・名付ける ・納得 ・なでる (×撫でる) ・など (×等) ・なにがし (×某、何某) ・何気ない ・何せ、なにせ ・何とぞ、なにとぞ (×何卒) ・何より、なにより ・名のる (×名乗る、名告る) ・生ぬるい ・なまり (×訛り) ・並大抵 ・並外れる ・習う 漢字を習う ・倣う 前例に倣う ・並びに ・習わし、ならわし (×慣わし)

なり なりかわる なりゆき なるべく なるほど なれそめ なれる	・なり (×形、態) ・成り代わる ・成り行き ・なるべく (×可成) ・なるほど (×成る程、成程) ・なれ初め ・慣れる 仕事に慣れる ・なれる (動物が人に) なれる (×馴れる)	ぬ	
なんじ なんとも なんなく なんら	・なんじ (×汝) ・何とも、なんとも ・難なく ・何ら	ぬう ぬか ぬかずく ぬきうち ぬきがき ぬきんでる ぬく	・縫う ・ぬか (×糠) ぬかにくぎ、こぬか雨 ・ぬかずく (×額ずく) ・抜き打ち ・抜き書き ・抜きんでる ・抜く 力を抜く、気を抜く ・ぬく やりぬく、困りぬく
に		ぬぐ ぬくもり ぬすむ	・脱ぐ 上着を脱ぐ ・ぬくもり (×温もり) ・盗む 物を盗む、盗み聞き
にいさん におい にぎやか にくい	・兄さん ・におい (×匂い、臭い) ・にぎやか (×賑やか) ・憎い 心憎い、憎い男、憎らしい ・にくい (×難い、悪い) 実行しにくい、読みにくい	ぬらす ぬるい	・ぬすむ 暇をぬすむ ・ぬらす (×濡らす) ・ぬるい (×温い) ぬるま湯
にじむ	・にじむ (×滲む) 汗がにじむ	ぬれる ぬれぎぬ	・ぬれる (×濡れる) ・ぬれぎぬ (×濡衣)
にせもの につかわしい につしょく にっしんげつば になう にほんばれ によじつ にらむ にわか にんじん	・偽物 (×贋物) ・似つかわしい ・日食 (×日蝕) ・日進月歩 ・担う ・日本晴れ ・如実 ・にらむ ・にわか (×俄か) にわか雨 ・にんじん (×人参)	ね	
		ね ねうち ねえさん ねがいごと ねぎらう ねこそぎ ねころぶ ねざす ねじれる	・音 虫の音、笛の音、音色 ・ね ねをあげる ・値うち ・姉さん ・願い事 ・ねぎらう (×労う) ・根こそぎ ・寝転ぶ ・根ざす (×根差す) ・ねじれる

ねたむ ねづよい ねばる ねほりはほり ねまき ねもと ねらう ねりなおす ねんざ ねんじゅう ねんしょう ねんれい	(×振じれる、捻じれる) ・ねたむ (×妬む、嫉む) ・根強い ・粘る ・根掘り葉掘り ・寝巻き (寝るときに体に着ける衣服) パジャマの寝巻き ・寝間着 (寝る部屋での衣服) 寝間着でくつろぐ ・根元、根下、根もと ・ねらう (×狙う) ・練り直す ・ねんざ (×捻挫) ・年中、年じゅう ・年少 (×年小) ・年齢	のぼる のぼりざか のむ のり のりおり のりかえ のりだす のる	・登る 山に登る、演壇に登る ・上る 煙が上る、話題に上る ・昇る 日が昇る、天に昇る ・上り坂、登り坂 ・飲む 水を飲む、飲み込む ・のむ (×呑む) 代案をのむ、声をのむ ・のり (×糊) ・乗り降り ・乗り換え、乗換え ・乗り出す ・乗る 車に乗る、風に乗る、 輿に乗る、時流に乗る ・載る 新聞に載る、雑誌に載る ・のる 相談にのる、口車にのる
の のがす のき のけもの のこぎり のし のぞく のぞむ のちほど のっとる のびのび のべ	・逃す ※ 言い逃れ、責任逃れ ・軒 ・のけ者 (×除け者) ・のこぎり (×鋸) ・のし (×熨斗) ・のぞく (×覗く) ・望む 努力することを望む、 ・臨む 海に臨む窓、試合に臨む ・後程 ・のっとる (×則る) 前例にのっとる ・伸び伸び 伸び伸びした子ども ・延び延び 遠足が延び延びになる ・延べ	は はあく はいき はいすい はいせつ はいふ はいまわる	・把握 ・廃棄 ・排水 排水用ポンプ、排水量 ・廃水 (使用後の汚れた水) 工場廃水 ・配水 配水管 ・排せつ (×排泄) ・配布 街頭で印刷物を配布する ・配付 予算の配付 ※「配付」は「予算の配付」のみに使用する ・はい回る (×這い回る)

はえ	・栄え 見栄え、出来栄え	はじめて	～をはじめとして ・初めて 初めて～する
はえる	・生える 草が生える、角が生える ・映える 夕陽に映える	はじる	・恥じる
はがき	・はがき (×葉書、葉書き)	はず	・はず (×筈)
はかどる	・はかどる (×捗る)	はすう	・端数
はかない	・はかない (×儂い)	はずれ	・外れ ※ 当たり外れ
はからう	・計らう	はたあげ	・旗揚げ
はからずも	・図らずも	はたして	・果たして
はかる	・図る 解決を図る ・計る 時間を計る ・測る 体重と身長を測る ・諮る 審議会上に諮る ・量る 推し量る、目方を量る ・謀る 悪事を謀る	はたす	・果たす
はきもの	・履物	はたち	・二十歳
はぎれ	・歯切れ	はたらき	・働き
はく	・履く	はちまき	・鉢巻き
はく	・吐く	はちゅうるい	・は虫類 (×爬虫類)
はぐくむ	・はぐくむ (×育む)	はつぶん	・発奮
ばくだい	・ばく大 (×莫大)	はつらつ	・はつらつ (×澁刺)
はくり	・はく離 (×剥離)	はなしあう	・話し合う ※ 話し合い (話し合い)
はげます	・励ます	はなしかける	・話し掛ける
はざかいき	・端境期	はなはだ	・甚だ、はなはだ
はさみ	・はさみ (×鋏)	はね	・羽 (つばさ、羽全体) トンボの羽、羽を伸ばす
はさむ	・挟む	はねまわる	・羽根 (部分) 羽根布団、追い羽根
はじめ	・始め (物事・動作を起こす 起源、開始) 仕事始め、式を始める ・初め (時間の最初) 月初め、初めて知った ・はじめ	はば	・跳ね回る
		はばかり	・幅 (×巾)
		はばむ	・はばかり (×憚る)
		はやい	・阻む
			・早い 時期が早い、時間が早い
			・速い スピードが速い
		はやる	・はやる (×流行る)
		はらう	・払う お金を払う、注意を払う
		はる	・張る ※ 形式張る
		はれる	・はれる (×腫れる)

はん	・判（用紙等の企画、印） 新書判、A4判、太鼓判 ・版（印刷） 縮刷版、絶版、豪華版 ・凡例（書物の編集方針、使い方） 辞書の凡例 ・判例（判決の実例） 判例集、判例を調べる ・範例（模範となる例） 手紙文の範例		・弾く つま弾く、弾き語り ・ひく（×轢く、挽く、惹く、 曳く、牽く、退く） 風邪をひく、木をひく、 コーヒー豆をひく、 関心をひく、船をひく、 車をひく、身をひく
はんれい			
ひ			
ひ	・火 火が燃える、火の気、 火を見るより明らか ・灯 街の灯、灯を絶やさぬ ・ひいき（×最良） ・ひいては ・控え室、控室 ・日陰（日の当たらない所） 涼しい日陰 ・日影（日光） 弱々しい日影 ・匹（×疋） 犬の子一匹 ・引き上げる 水準を引き上げる ・引き揚げる 海外から引き揚げる ・引き換え、引き替え （引換え） ・引き締まる ・引き取り、引取り ・ひきょう（×卑怯） ・引き渡し、引渡し ・引く 辞書を引く、注意を引く、 例を引く	- ひげ - ひけつ - ひごと - ひごろ - ひざ - ひさし - ひざし - ひざまずく - ひそか - ひそめる - ひたむき - ひづけ - ひっす - ひっぱる - ひといちばい - ひとえに - ひとかた - ひときわ - ひとこと - ひとたび - ひとつ - ひとづくり - ひとつて - ひとり - ひとりひとり - ひなた	・ひげ（×髭、髻、鬚） ・秘けつ（×秘訣） ・日ごと ・日ごろ（×日頃） ・ひざ（×膝） ・ひさし（×庇） ・日差し、日ざし（×陽射し） ・ひざまずく（×跪く） ・ひそか（×密か） ・潜める 身を潜める ・ひそめる（×顰める） まゆをひそめる ・ひたむき ・日付 ・ひっす（×必須） ・引っ張る ・人一倍 ・ひとえに ・一方 一方ならぬ ・一際 ・一言 ・一度 ・一つ ・人づくり ・人づて ・一人 ・独り ※ 独り言、独り占め ・一人一人 ・ひなた（×日向）

ひゆ ひょうき ひより ひらがな ひるがえる ひんしゆく ひんばん	・ 比喻 ・ 表記 国語の表記、表記便覧 ・ 標記 (表題に掲げたこと) 標記の件について ・ 日和 ・ 平仮名 ・ 翻る ・ ひんしゆく (× 顰蹙) ・ 頻繁	ぶしつけ ふじゅうぶん ぶしょう ぶじよく ふしん	・ ぶしつけ (× 不躱) ・ 不十分 ・ 不精 不精者、不精ひげ、筆不精 ・ 侮辱 ・ 不信 不信感、不信を招く ・ 不審 挙動不審、不審火 ・ 不振 学業不振、食欲不振
ふ		ふぜい ふせん ふぞく ふたび ふたり ふだん	・ 風情 ・ 付せん (× 付箋) ・ 附属、付属 ・ 再び ・ 二人 ・ 普段 (日常、平生) ・ 不断 不断的努力、優柔不断 ・ 筆遣い ・ 布団 (× 蒲団) ・ 吹雪 ・ 普遍 普遍的、普遍の真理 ・ 不変 永久不変 ・ 不偏 不偏不党 ・ ふ報 (× 訃報) ・ 踏まえる ・ 不用 (↔ 入用) 不用になる、不用品 ・ 不要 (↔ 必要) 代金不要 ・ 扶養 扶養の義務、扶養家族 ・ 振り返る (後ろを見る、見直す) ・ 振り替える ※ 振り替え 時間を振り替える
ふうてい ふうふ ふえき ふえる ふえん ふか ふく ふくらむ ふくげん ふける ふさわしい	・ 風体 ・ 夫婦 ・ 不易 ・ 増える 人数が増える ・ 殖える 財産が殖える ・ 敷えん (× 敷衍) ・ ふ化 (× 孵化) ・ 吹く 風が吹く、笛を吹く ・ 噴く 火山が火を噴く ・ ふく (× 葺く、拭く) 屋根をふく、汗をふく ・ 膨らむ ・ 復元 遺跡の復元、復元図 ・ 復原 復原する力 ・ 更ける 秋が更ける、夜が更ける ・ 老ける 老けて見える ・ ふける (× 耽る) 読書にふける ・ ふさわしい (× 相応しい)	ふでづかい ふとん ふぶき ふへん ふほう ふまえる ふよう ふりかえる	

ふるう ふるさと ふれあう ふろ ふんいき ふんべつ ふんまん	・振るう 腕を振るう ・奮う 勇気を奮う ・震う 身震い、震え声 ・ふるう (×篩う) 小麦粉をふるう ・ふるさと (×故郷、古里) ・触れ合う ・ふろ (×風呂) ・雰囲気 ・分別 ・ふんまん (×憤懣、忿懣) ふんまんやるかたない	べんたつ へんとうせん	・べんたつ (×鞭撻) ・へんとうせん (×扁桃腺)
へ へいき へいこう へいぜい へいたん へいれつ へきち へきれき へた べっこう へん へんけん へんさん	・併記 ・平行 平行線をたどる ・並行 並行して走る ・平衡 平衡感覚、平衡を保つ ・平生 ・平たん (×平坦) ・並列 (↔ 直列) ・へき地 (×僻地) ・へきれき (×霹靂) ・下手 (↔ 上手) ・へた なすのへた ・べっこう (×鼈甲) ・辺 (場所・地域、数学の「辺」) 近辺、周辺、この辺、底辺 ・へん (場所以外の箇所・程度) このへんでやめよう ・偏見 ・編さん (×編纂)	ほ ほう ほうが ほうかい ほうき ぼうじゃく ぶじん ほうしょう ぼうぜん ほうだい ぼうだい ぼうちょう ほうび ほうぼう ほうる ほお ほおずき ほか ほかならぬ ほがらか ぼくとつ ほご ほしい	・方 こちらの方は、～ ・ほう芽 (×萌芽) ・崩壊 ・ほうき (×箒) ・傍若無人 ・報奨 (奨励する) 完納を報奨 ・報償 (損害を補う) 事故に対する報償金 ・褒章 (栄典の記章) 褒章条例、紫綬褒章 ・褒賞 (ほめたたえる) 善行に対する褒賞金 ・ぼう然 (×呆然、茫然) ・ほうだい 荒れほうだい、食いほうだい ・膨大 ・膨脹、膨脹 ・褒美 ・方々 ・ほうる ※ほうり出す ・ほお (×頬、頬) ・ほおずき ・外、ほか (×他) 外の品、思いの外 ことのほか ・ほかならぬ (×他ならぬ) ・朗らか ・朴とつ (×朴訥) ・ほご (×反故、反古) 約束をほごにした ・欲しい

ほしょう	～が欲しい ・ほしい ～してほしい ・保証 安全の保証 品質の保証 ・保障 人権の保障、社会保障 ・補償 損害補償	まいご まいしん まいる	・迷子 ・まい進 (×邁進) ・参る 会場に参ります ・まいる 彼にまいている
ほそぼそ ぼっする ぼっちゃん	・細々 ・没する ・坊ちゃん (漱石の作品は「坊っちゃん」)	まえもって まかなう まぎぞえ まぎらす まこと まことに まさしく まさに まさる	・前もって ・賄う ・巻き添え ・紛らす ・まこと (×真、実) ・誠に ・正しく、まさしく ・まさに ・勝る 立ち勝る
ほど	・ほど ～するほど～ 3日ほど前 ・程 身の程、後程、程遠い、 程なく、程よい、程々に	まざる	・まさる AはBにまさる、 聞きしにまさる ・交ざる 漢字仮名交じり文 交ぜ織り
ほとんど ほほえむ	・ほとんど ・ほほえむ (×微笑む) ※ほおえむ ほほえみ ※ほおえみ		・混ざる 異物が混ざる 絵の具を混ぜる
ほめる ほれる ほろぶ ほんとう	・褒める ・ほれる (×惚れる) ・滅ぶ ・本当 本当に悲しい	まじめ まじわり	・まじめ (×真面目) ・交わり 人の交わり
ほんね ほんもう ほんやく ほんらい	・本音 ・本望 ・翻訳 ・本来	まず ますます また	・まず ・ますます ・また ～。また、～ ・又 今日も又～
ま	・真 真に受ける、真後ろ、真心 ・間 間をとる、間が悪い	またしても またたくまに またとない または	・またしても ・またたくまに ・またとない ・又は A又はB
ま		まちがい	・間違い

まちかど	・街角		弱み、面白み、深み
まちか	・間近		・味
まちなか	・街中		真実味、人間味
まちなみ	・町並み	み	・御
まっこう	・真っ向 ※ 真っ白、真っ暗、 真っ赤、真っ最中	みいだす	御心、御霊、御世
まっしょう	・抹消	みおろす	・見いだす (×見出す)
まっすぐ	・真っすぐ	みがく	・見下ろす ※ 見下す (みくだす)
まったく	・全く	みかけ	・磨く
まっとうする	・全うする	みかた	・見掛け
まで	・まで (×迄)	みかづき	・味方
まにあう	・間に合う	みかねる	・三日月
まね	・まね (×真似)	みかわり	・見かねる
まのあたり	・目のあたり	みきり	・身代わり
まひ	・まひ (×麻痺)	みぎり	・見切り
まぶしい	・まぶしい (×眩しい)	みざり	見切りをつける、見切り発車
まま	・まま ～したまま～	みざわ	・みざり
まもなく	・間もなく	みきわめる	厳寒のみざり
まるい	・丸い 丸く治める、丸太	みくびる	・みざわ (×汀、水際)
まるで	・円い 円い窓、円く輪になる	みごと	・見極める
まるめる	・まるで (×丸で)	みこみ	・見くびる
まれ	・丸める	みごろ	・見事 (×美事)
まわり	・まれ (×稀、希)	みさき	・見込み
	・回り 身の回り、回る	みじたく	・見ごろ
	・周り 池の周り、家の周り 周りの人	みさき	・岬
まんざら	・満更	みじめ	・身支度
まんなか	・真ん中	みじん	・惨め
まんべんなく	・まんべんなく (×満遍なく、万遍なく)	みずいらす	・みじん (×微塵)
み		みすかす	・水入らず
み	・～み	みすから	・見透かす
		みずぎわだつ	・自ら
		みすごす	・水際立つ
		みずさし	・見過ごす
		みずみずしい	・水差し
		みすばらしい	・みずみずしい (×瑞々しい)
		みせしめ	・みすばらしい
		みせつける	・見せしめ
		みせびらかす	・見せつける
		みぞう	・見せびらかす
			・みぞう (×未曾有)

みそこなう	・見そこなう		脈を診る
みそめる	・見初める	みるみる	・(～して) みる
みたす	・満たす	みわたす	・みるみる
みだりに	・みだりに	みんな	・見渡す
みち	・道 (×路、途、径)		・みんな
	・みち 心の小みち		※ 皆 (みな) 皆さん (みなさん)
みぢか	・身近		
みちのり	・道のり (×道程)	む	
みちばた	・道端	むかい	・向かい
みつける	・見付ける	むかし	・昔
みつめる	・見つめる	むかむちゅう	・無我夢中
みつもる	・見積もる	むき	・向き
みとおす	・見通す		体の向きを変える、表向き
みなぎる	・みなぎる (×漲る)		・むき
みなす	・見なす		悲観的に見るむきがある
みにくい	・見にくい 人がいるので前が見にくい		むきになって怒る
	・醜い 醜い行い	むげに	・むげに (×無碍に)
みのがす	・見逃す	むこ	・媚
みばえ	・見栄え	むごい	・むごい (×惨い、酷い)
みはなす	・見放す	むざん	・無残、無惨
みはる	・見張る 門の前で見張る	むじゃき	・無邪気
	・みはる 目をみはる	むしょうに	・無性に
みみずく	・みみずく	むずかしい	・難しい
みみより	・耳寄り	むぞうさ	・むぞうさ (×無造作、無雑作)
みもと	・身元	むだ	・無駄
みもん	・未聞 前代未聞	むちゃ	無駄話、無駄遣い
みやげ	・土産	むてっぽう	・むちゃ (×無茶)
みやすい	・見やすい	むとんちゃく	・無鉄砲
みやびやか	・みやびやか		・むとんちゃく (×無頓着)
みる	・見る (×観、看、視) 景色を見る 面倒を見る	むなしい	※ 「むとんじゃく」とも
	・診る 患者を診る	むに	・むなしい (×虚しい、空しい)
		むね	・無二
			・旨 その旨お伝えします
			・棟 棟上げ
			・胸 胸の前でボールをとる

むやみ むり むろん	・むやみ (×無闇、無暗) ・無理 無理強い ・無論		
め			
め めあて めいかい めいき めいぎ めいげつ めいせき めいめい めいりょう めいる めおと めがける めがしら めかた めかね めぐる	・～目 三日目、折り目 ・～め 大きめ、長め ・目当て、めあて ・明快 明快な答え、論旨明快 ・明解 明解な注釈 ・明記 本文に明記する ・銘記 心に銘記する ・名義 ・名月 (陰暦八月十五夜の月の意味) 名月を觀賞する、中秋の名月 ・明月 (澄みきった月の意味) 明月が照らす ・明せき (×明晰) ・銘々 銘々が歌う、銘々皿 ・明りょう (×明瞭) ・めいる (×滅入る) ・めおと (×夫婦) ・目掛ける 頂上を目掛けて登る ・目頭 ・目方 ・眼鏡 ・巡る 巡り合い、巡り歩く	めざす めざましい めざわり めし めす めだつ めっきり めった めでたい めぼし めぼしい めまい めまぐるしい めもり めやす めんどう めんぼく めんみつ めんるい	池を巡る、堂々巡り ・目指す ・目覚しい ・目ざわり ・飯 ・召す ・目立つ ・めっきり ・めった (×滅多) ・めでたい (×目出たい、芽出たい) ・目星 目星をつける ・めぼしい ・めまい (×眩暈) ・めまぐるしい ・目盛り ・目安 ・面倒 ・面目 ※「めんもく」とも 面目ない ・綿密 ・めん類 (×麵類)
		も	
		も もうかる もうける もうしあげる もうしこみ もうしぶん もうしわけ もうそう もうでる もうら もうろう もえる	・喪 ・もうかる (×儲かる) ・設ける ・申し上げる ・申し込み (申込み) ※ 申込書、申込期間 ・申し分 ・申し訳 ・妄想 ・もうでる (×詣でる) ・網羅 ・もうろう (×朦朧) ・燃える 火が燃える

もぎ	・もえる (×萌える) 若草が萌える		・本 本を正す、本と末
もくじ	・模擬		・基 ～を基にする
もくと	・目次 ・目途 10月を目途とする	もどす	・戻す ・もどす (吐くの意味) 食べたものをもどす
もくとう	・黙とう (×黙禱)	もとづく	・基づく
もくもく	・黙々	もともと	・元々、もともと
もくれない	・目礼 (目であいさつをする) 目礼を交わす ・黙礼 (黙ったままで敬礼する) 式次第の黙礼	もとより	・もとより ～はもとより
もくろむ	・もくろむ (×目論む)	もの	・者 (人にかかわって) ・物 (有体物にかかわって)
もさ	・猛者		・もの ～するものとする ～というものは
もし	・もし	ものおじ	・物おじ (×物怖じ)
もしくは	・若しくは	ものおもい	・物思い
もたらす	・もたらす (×齎す)	ものおぼえ	・物覚え
もちいる	・用いる	ものさし	・物差し、物指し
もちだし	・持ち出し ※持ち出し禁止	ものしずか	・物静か
もちろん	・もちろん (×勿論)	ものしり	・物知り
もつ	・持つ (手に物を持つ場合) 荷物を持つ ・もつ 豊かな心をもつ	ものすごい	・ものすごい (×物凄い)
		ものたりない	・物足りない
もっか	・目下	ものわかり	・物分かり
もって	・もって これをもって閉会にします	もはや	・もはや (×最早)
		もみじ	・紅葉
もつとも	・最も 最も楽しい時間 ・もつとも もつともな話	もめん	・木綿
		もよう	・模様 ・もよう ～するもよう
もっぱら	・専ら	もよおす	・催す 会を催す、催し物
もてあます	・もてあます		・もよおす 眠けをもよおす
もてなす	・もてなす	もより	・最寄り
もてはやす	・もてはやす	もりこむ	・盛り込む、もりこむ
もと	・下 法の下、一撃の下 ・元 火の元、親元	もろとも	・もろとも
		もろもろ	・もろもろ (×諸々)
		もんく	・文句

もんごん もんつき もんよう	・文言 ・紋付き ・文様、紋様	やま	・敗れる 試合に敗れる ・山 高い山 ・やま 物語のやま場、やまをかける ・やましい (×疚しい、疾しい) ・やまやま ～したいのはやまやまだが～ ・山々 向こうの山々 ・やみ (×闇) ・やむを得ない ・やめる (×止める) 取りやめ ・辞める 会社を辞める ・やや やや寒い ・やり方 ※ やりっ放し やり取り やり直し ・柔らかい 柔らかい身のこなし 物柔らかな態度 柔らかな日差し ・軟らかい 軟らかい水 ・和らぐ
や			
や	・家 空き家、一軒家、家賃 ・屋 母屋、屋形船、屋根 ・八重 ・やがて ・やかん (×薬缶、薬罐) ・やきもち (×焼餅) ・焼く 炭を焼く、パンを焼く ・やく (×妬く) やきもちをやく 世話をやく ・役割 ・やけど (×火傷) ・やけに ・優しい 優しい人柄 ・易しい 易しい問題 ・(～し) やすい ・やすやすと (×易々と) ・安らか ・やせる (×痩せる) ・やたら (×矢鱈) ・厄介 ・躍起になる ・矢継ぎ早 ・屋根 ・やはり (×矢張り) ・やぶ (×藪) ・やぶさか ・破れる 夢が破れる、靴下が破れる	- やましい - やまやま - やみ - やむをえない - やめる - やや - やりかた - やわらかい - やわらぐ	
やえ やがて やかん やきもち やく			
やくわり やけど やけに やさしい			
やすい やすやすと やすらか やせる やたら やっかい やっきになる やつぎばや やね やはり やぶ やぶさか やぶれる			
		ゆ	
		- ゆいいつ - ゆいしょ - ゆいのう - ゆううつ - ゆうえん	・唯一 ・由緒 ・結納 ・憂うつ (×憂鬱) ・悠遠 (はるかに遠い) 悠遠の昔 ・幽遠 (奥深い)

ゆうかい ゆうぎ ゆうする ゆうだち ゆうべ ゆうやみ ゆうゆう ゆえ ゆえん ゆかしい ゆかた ゆがむ ゆきあう (いきあう) ゆきがかり (いきがかり) ゆきかた (いきかた) ゆきすぎ (いきすぎ) ゆきわたる (いきわたる) ゆきさき (いきさき) ゆきどけ ゆきとどく (いきとどく) ゆくえふめい ゆくゆく ゆさぶる ゆだねる ゆだん ゆちやく ゆびさす	幽遠な世界、幽遠な趣、 幽遠な真理 ・誘拐 ・遊戯 幼稚園の遊戯 ・遊技（許可営業の娯楽） 遊技場 ・有する ・夕立 ・タベ (夕方) ・ゆうべ (昨夜・昨晚) ・夕やみ（×夕闇） ・悠々 ・故 ※ 故に、ゆえに ・ゆえん（×所以、由縁） ・ゆかしい（×床しい） ・浴衣 ・ゆがむ（×歪む） ・行き合う ・行き掛かり (いきがかり) ・行き方 (いきかた) ・行き過ぎ (いきすぎ) ・行き渡る (いきわたる) ・行き先 (いきさき) ・雪解け ・行き届く ・行方不明 ・ゆくゆく ・揺さぶる ・ゆだねる（×委ねる） ・油断 ・癒着 ・指差す、指さす	ゆゆしい ゆらい ゆるい ゆるしがたい ゆるみ ゆるやか ゆれる ゆわえる	・由々しい ・由来 ・緩い 緩い上り坂、緩いスピード ・ゆるい 水でゆるく溶く ・許し難い ・緩み 心の緩み ・緩やか ・揺れる ※揺り動かす 揺り返し、揺り戻し ・結わえる
		よ よい よい ようかん ようこう ようしゃ ようす ようするに ようだ ようだい ようたし ようぼう ようやく ようりつ	・良い、よい 手際が良い、良い習慣 ・善い 善い行い、行儀が善い ・よい ～してよい、～でよい ・宵 宵の口、宵やみ、宵っぱり ・ようかん（×羊羹） ・要項（大切な事柄） 募集要項 ・要綱（要約した大綱） 計画の要綱、政策の要綱 ・容赦 容赦なく ・様子 ・要するに ・（～の）ようだ ・容体、容態 ・用足し ・容ぼう（×容貌） ・ようやく（×漸く） ・擁立

よかれ あしかれ よぎない よく よくよく よけい よける よこす よし よしあし よしみ よじょう よせ よそ よそおう よだん よって よびだし よふかし よほど よみがえる よみとる よみふける よむ より よりどころ よる	・善かれあしかれ (×善かれ悪しかれ) ・余儀ない ・よく (×良く、善く) 音楽がよく聞こえる ・よくよく よくよくの事情 ・余計 ・よける (×避ける、除ける) ・よこす (×寄越す) ・由 ～の由 ・善しあし ・よしみ ・余剰 ・寄席 ・よそ (×他所、余所) よその国、よそ見 ・装う ・予断 ・よって ・呼び出し、呼出し ・夜更かし ・よほど (×余程、予程) ・よみがえる (×蘇る、甦る) ・読み取る ・読みふける (×読み耽る) ・読む 本を読む、心を読む ・詠む (詩歌を作る) 和歌を詠む、一首詠む ・より AよりBが大きい ・よりどころ ・因る、よる 風邪に因る欠席 ・寄る 学校に寄る、寄る辺 ・よる 基準による (×拠る)	- 糸をよる (×繕る) - 粒より (×粒選り) ・よろしい (×宜しい) ・よろしく (×宜敷く、宜しく) ・世論 世論が高まる、世論調査 ・よんどころない
	ら	
	ら	・ら (×等) これら、彼ら ・来賓 ・礼賛 ・礼拝 (「れいはい」ともいう) ・落書き ・落ご (×落伍) 途中で落ごした ・楽々 ・らせん (×螺旋) ・らち (×埒) ・羅列 ・乱獲、濫獲 ・乱読、濫読 ・乱発、濫発 ・らんまん (×爛漫) 天真らんまん、春らんまん ・乱用、濫用
	り	
	りくつ りこう りこう りちぎ りっする りっぱ りびょう りふじん	・理屈 ・履行 ・りこう (×利巧) ・律儀 ・律する ・立派 ・り病 (×罹病) り病率が高い ・理不尽

りゅうちょう りょうかい りょうがえ りょうけん りょうしょう りょうぜん りりしい りれきしょ	・流ちょう (×流暢) 流ちょうに話す ・了解 ・両替 ・了見 ・了承 ・りょう然 (×瞭然) 違いは一目りょう然 ・りりしい (×凛々しい) ・履歴書		緊密な関係をとる 関係プレー
る		ろ	
るいか るいけい るす るつぽ るてん るふ るろう	・累加 ・類型 類型で分ける ・累計 金額の累計を出す ・留守 ・るつぽ (×坩堝) ・流転 ・流布 ・流浪	ろうえい ろうがっこう ろうする ろうばい ろうろう ろかた ろくしょう ろけん ろじ ろっこつ ろんきゅう	・漏えい ・ろう学校 (×聾学校) ・ろうする (×弄する) 甘言をろうする ・ろうばい (×狼狽) ・朗々 ・路肩 ・緑青 ・露頭、露見 ・露地 (上を覆うものがない土地) 露地栽培 ・路地 (建物・人家の間の道) 路地裏、路地伝い ・ろっ骨 (×肋骨) ・論及 (その点まで論理の筋道を立て て言及すること) 細部に論及する ・論究 (論議を尽くして道理を究 める) この主題を論究したもの
れ		わ	
れいか れいか れいぎ れいこう れいぐう れいてん れいにゅう れいめい れんが れんけい	・零下 ・冷夏 ・礼儀 ・励行 ・冷遇 ・零点 ・戻入 ・れい明 (×黎明) 新しい時代のれい明 ・れんが (×煉瓦) ・連携 (連絡をとり協力しながら 事を行う) 連携して推進する ・連係 (密接なつながりをつける)	わいきよく わいしょう わいろ わがくに わかちがき わかる わかれる	・わい曲 (×歪曲) ・わい小 (×矮小) ・わいろ (×賄賂) ・我が国 ・分かち書き ・分かる 気持ちとはよく分かる ・分かれる 意見が分かれる ・別れる 友と駅頭で別れる

わきばら	・わき腹 (×脇腹)		割に合わない
わきまえる	・わきまえる (×弁える)		・わりに
わきめ	・わき目 (×脇目) わき目もふらず		～のわりに～
わく	・粋	わるだくみ	・悪巧み
わく	・沸く 湯が沸く、聴衆を沸かす	わるびれる	・悪びれる
	・わく (×湧く、涌く) 地下水がわき出る	われら	・我ら
わけ	・訳 言い訳、内訳		
	・わけ ～するわけにはいかない		
わざ	・技 柔道の技、技を磨く		
	・業 至難の業、離れ業		
わずか	・わずか (×僅か)		
わずらう	・患う 大病を患う		
	・煩う 思い煩う、心を煩わす		
わずらわしい	・煩わしい		
わせ	・わせ (×早稲、早生)		
わたくし	・私 ※「わたし」は、 「わたし」と書く		
わたくしごと	・私事		
わたる	・渡る 橋を渡る、渡り合う		
	・わたる 細部にわたる 三日にわたる		
わたりろうか	・渡り廊下		
わび	・わび (×詫び)		
わらべうた	・童歌		
わら	・わら (×藁)		
わりあい	・割合 ・わりあい わりあい速い		
わりに	・割に		